M−Chamber for ZShot RTW

東京マルイ規格のバレル、パッキンが使用可能な同軸調整式カスタムチャンバーです
パーツが豊富なスタンダード電動ガン用バレルとパッキンが使えることで
幅広いカスタムが可能となります。

注意
インナーバレル、ホップパッキン、ホップクッションゴムは付属しません。
別途お買い求めください。

組み立て、装着方法

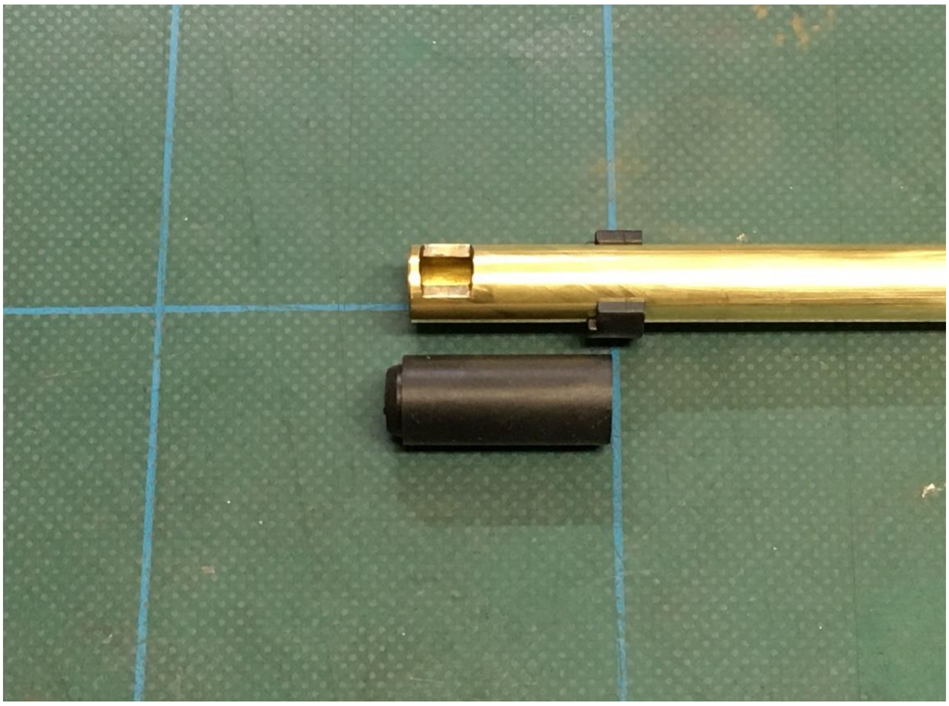


fig.1

M−chamberは電動AR用バレルクリップを前後逆さまに使うため
チャンバーパッキンの銃口側を適度な長さにカットします。

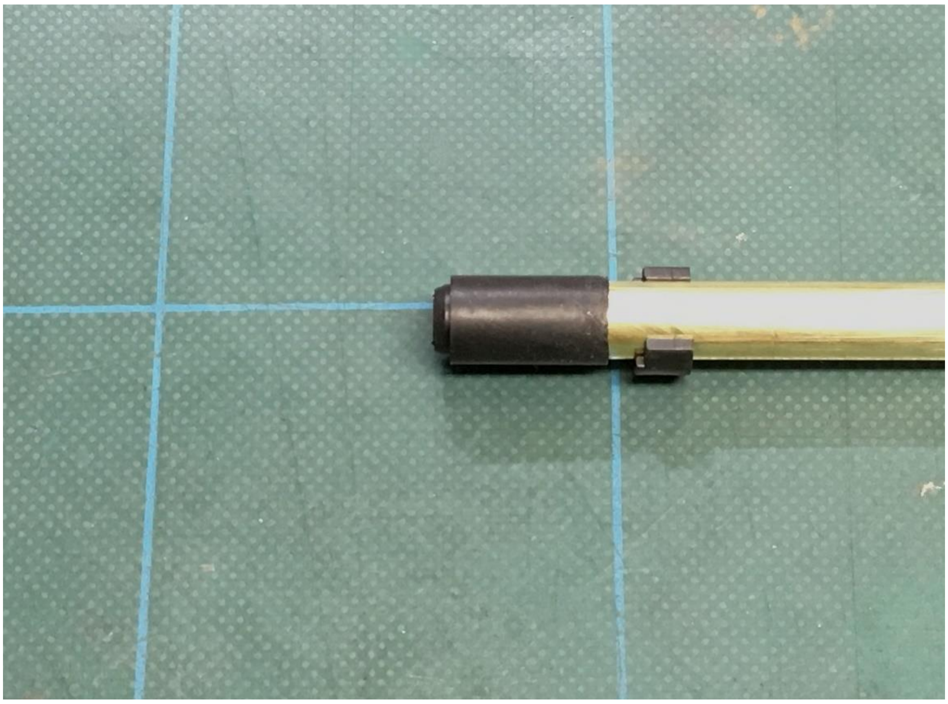


fig.2

チャンバーパッキン銃口側が
バレルクリップに干渉しない程度に切り取った例です。

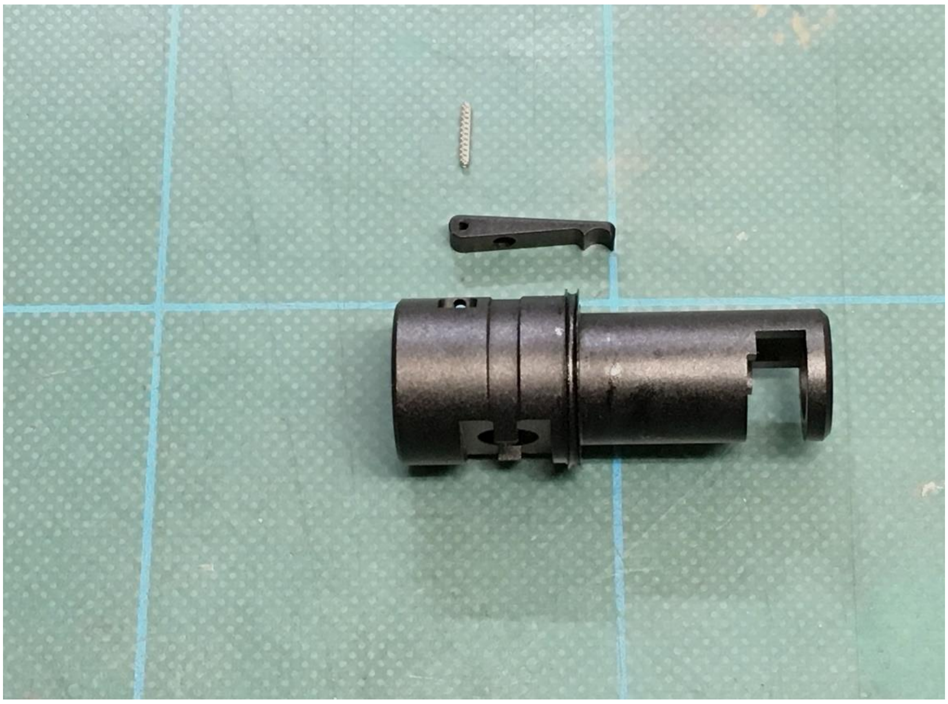


fig.3

メインルートにホップレバーを取り付けます。
付属のΦ1xL8の割ピンを使用します。

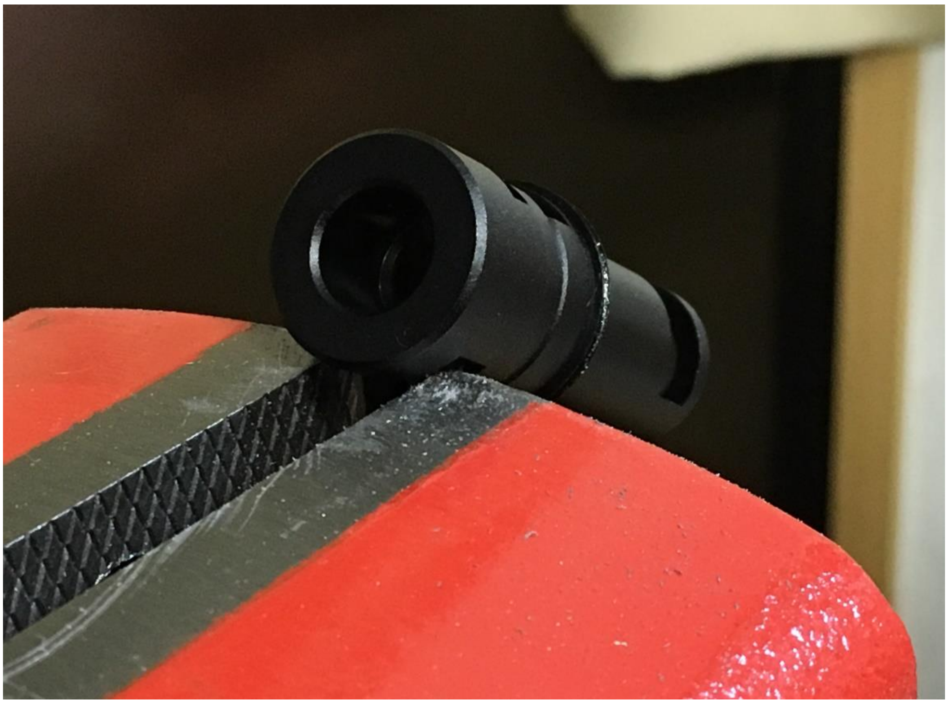


fig.4

割ピンは細く、叩くとすぐ曲がってしまうので
写真のようにバイスの口金の角などを使用し、ゆっくり圧入します。

fig.5

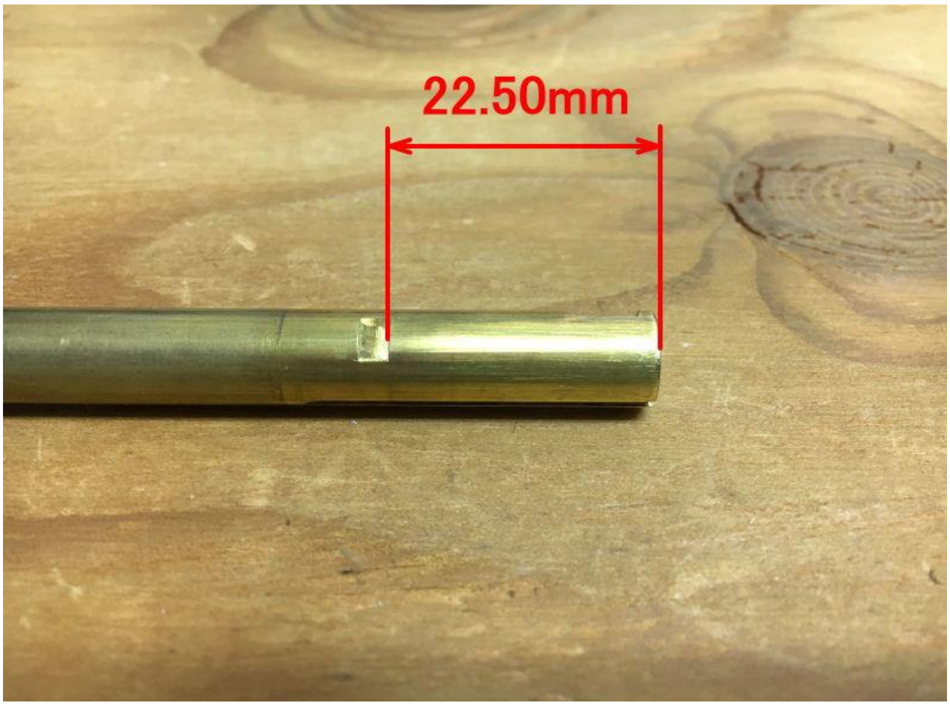
ホップレバーを取り付けたら、先ほどのバレルー式を
メインルートに装着します。かなりタイトなので、メインルート内側とパッキンに
十分オイルを塗ってから装着してください。

fig.6

バレル一式を装着したら、ホップ突起の向きを確認しながら
バレルクリップに固定します。

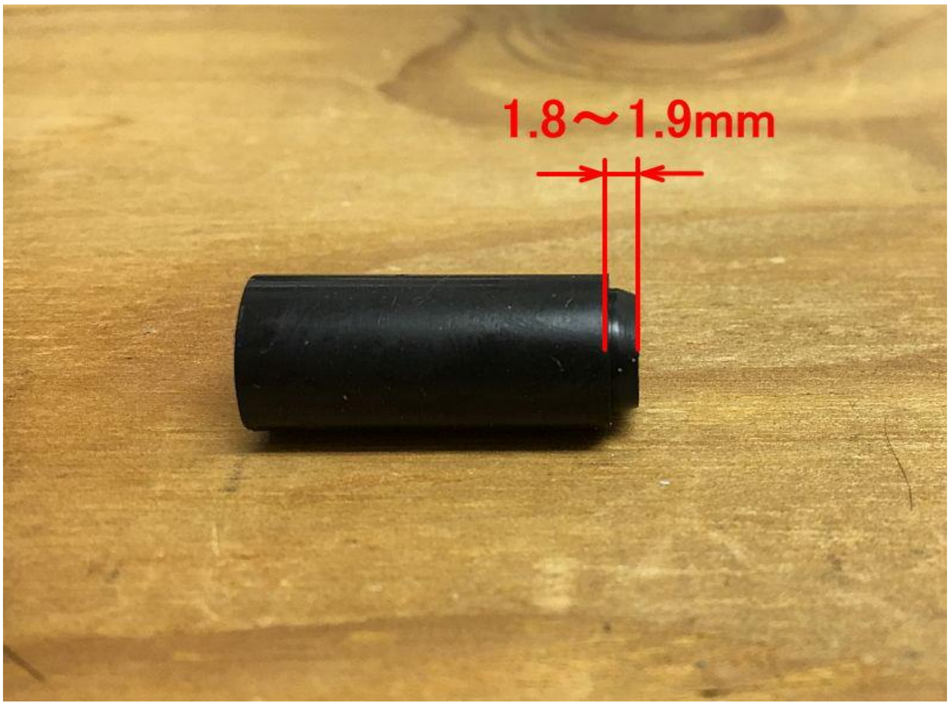
fig.7

バレルクリップがしっかり奥まで嵌まったら
固定完了です。



バレル選定のポイントです。
必ずクリップ溝の給弾口側からバレル端面までが
22.50mm(東京マルイ準拠)の物を使用してください。

この寸法が短いと、バレルとホップパッキンが銃口寄りに固定されてしまい
気密が取れなくなってしまう場合があります。



続いてホップパッキン選定のポイントです。

気密リブ部分が1.8～1.9mmの物を使用してください。
この部分が短いと、ノズルとの接触が不十分となり気密漏れを起こします。
気密リブが長すぎると給弾口にはみ出してBB弾の通過と共にめくれ上がってしまい
弾詰まり、ギアクラッシュを起こす原因となります。

また、気密リブにBB弾を乗せた時、自重で通過してしまうような内径の広い物もNGとなります。
指で軽く触って落ちるくらいがベストです。

fig.8

ホップクッションゴムと、レバーテンション用スプリングを装着します。
非常に小さなパーツなので、なくさないよう注意してください。
ホップクッションゴムはレバーにグリスでくっつけておくと作業が楽です。

fig.9

レバーテンション用スプリングがメインルート、ホップレバーの受け(凹み)に
入るよう、調整しながらホップレバーを下ろして指で押さえておきます。

fig.10

ホップダイヤルテンションOリングをバレル側から通します。

fig.11

ホップダイヤルテンションOリングをメインルート外周の溝に装着し、
ホップレバーを押さえ込みます。
付属のOリング2種類で、ダイヤルを回す時の重さを変えられます。

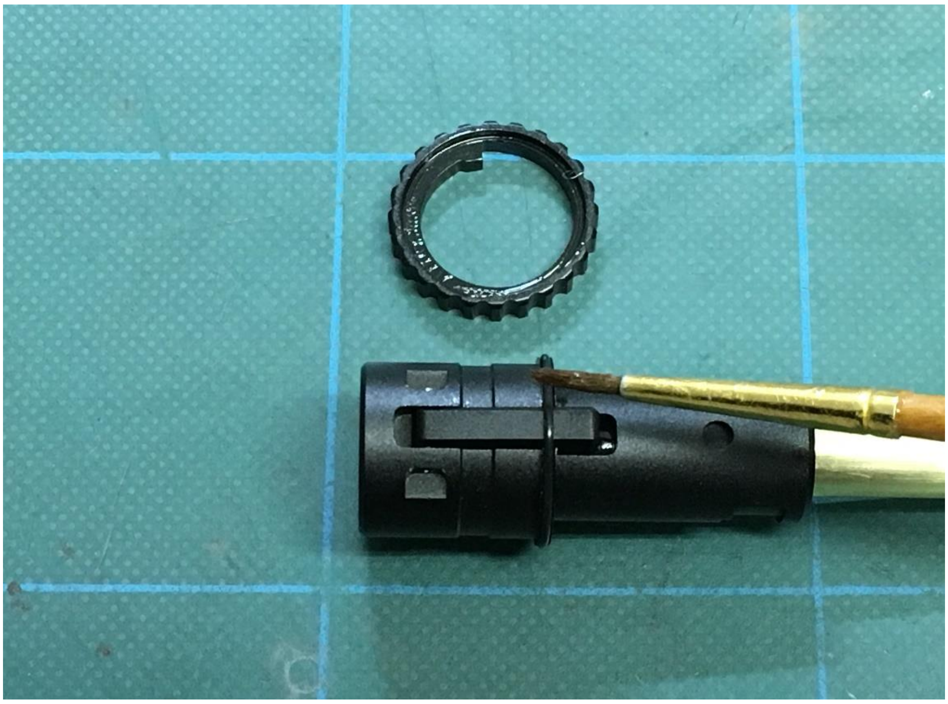


fig.12
ホップダイヤルテンションOリングとホップダイヤル内側に
十分な量のオイル・グリスを塗っておきます。
チャンバーで一番外径の大きなダイヤル外周は実測Φ22.53mm程度となります。
ダミーボルトカバー加工などされる場合、参考にしてください。

fig.13

ホップダイヤルを装着します。
ホップダイヤルテンションOリングを破損させないよう注意してください。
ダイヤルは写真上方向に回すとホップが強くなります。

fig.14
バレルホルダーを装着します。
インナーバレルによっては、バレルホルダーがキツい場合があるので
その時はバレルにオイルを塗ってから装着してください。
ねじるとバレルの軸が狂うので、必ずまっすぐ装着してください。

fig.15

バレルホルダーを奥まで差し込んだら付属のイモネジを使って固定します。
小さなイモネジなので、オーバートルクには注意してください。

fig.16

続いてコレットナットをバレルに通します。

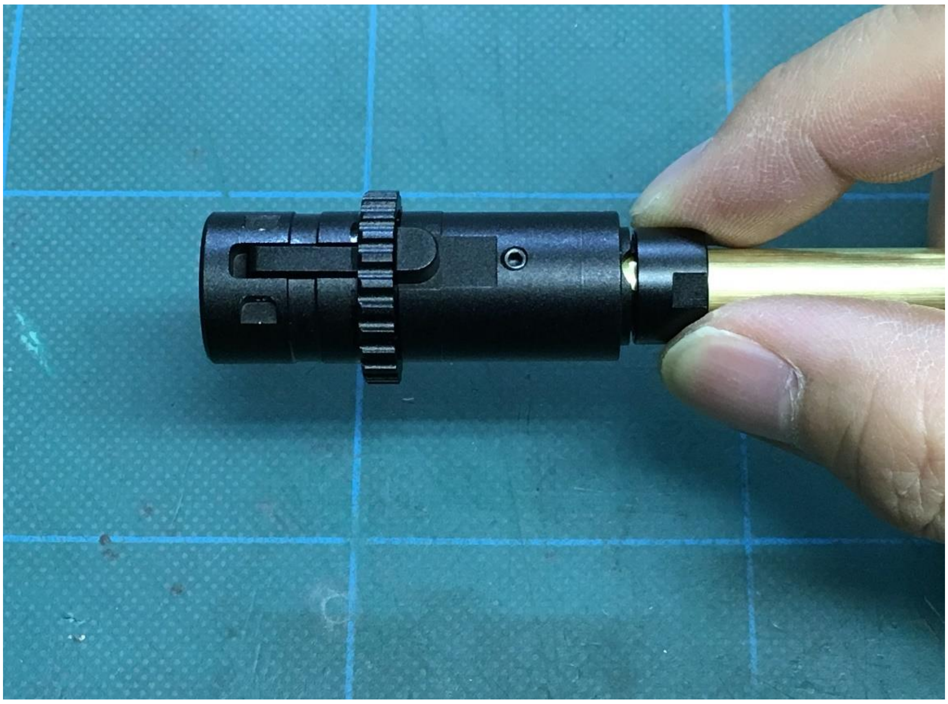


fig.17

コレットナットを指でねじ込んでいきます。
これを締め込む事ですり割りがバレルを押さえ込み、
センターを出すと共に確実に固定します。

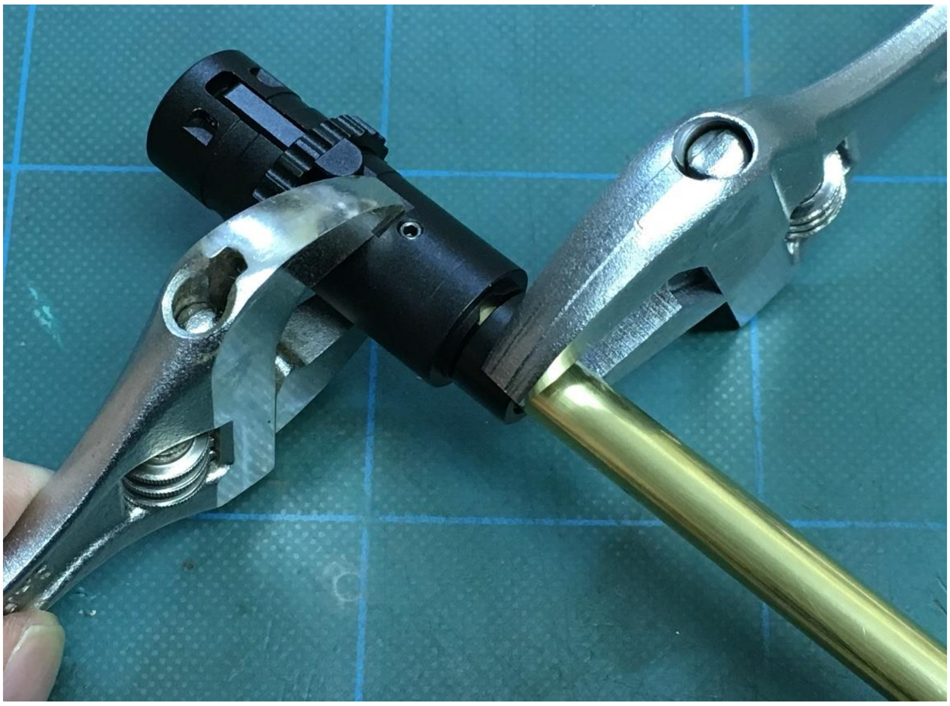


fig.18

最後にバレルホルダー根元の2面カット部分と
コレットナットの2面カット部分をレンチで抑え、軽く増し締めします。
バレルが動かなくなる程度でOKです。オーバートルクには気をつけてください。

fig.19

最後にΦ8.55(Φ8.5)→Φ10変換Oリングを取り付けます。
任意の位置にOリングを装着し、、、

fig.20

Oリングの前後にマスキングテープなどをOリングが脱落しない程度に巻いて位置固定します。
アウターバレルに装着する際、Oリングとアウターバレル内部にオイルを塗布し
滑りを良くしてから取り付けてください。

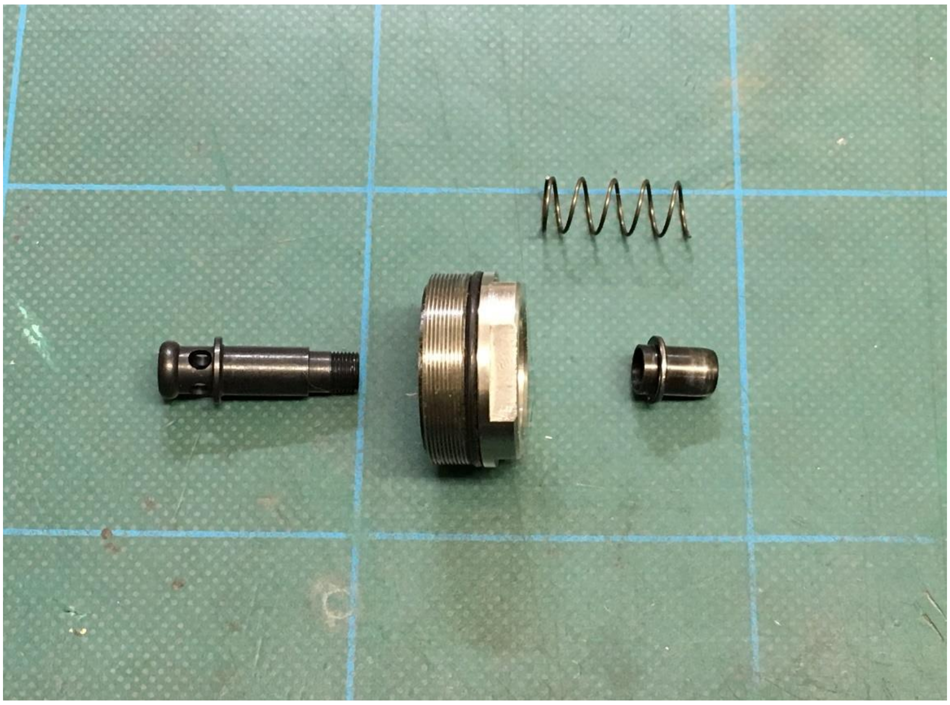


fig.21

次に専用ロングノズルを取り付けます。
まずはシリンダーヘッドを写真の様に分解します。
ネジロックがかかっている事があるので注意してください。

fig.22

まず、ノズルBに専用ロングノズルが取り付けられるかを確認します。

fig.23

ノズルBのロットによって、写真左のようにねじ山が浅い物があります。
こういった場合、ねじ山の修正が必要となります。

fig.24

ねじ山が浅い場合、M5.5xP0.5のダイスを使ってノズルのねじ山を修正します。
ダイスはMonotaROなどで購入可能ですが、自信が無い場合は
ショップ様に加工を依頼してください。

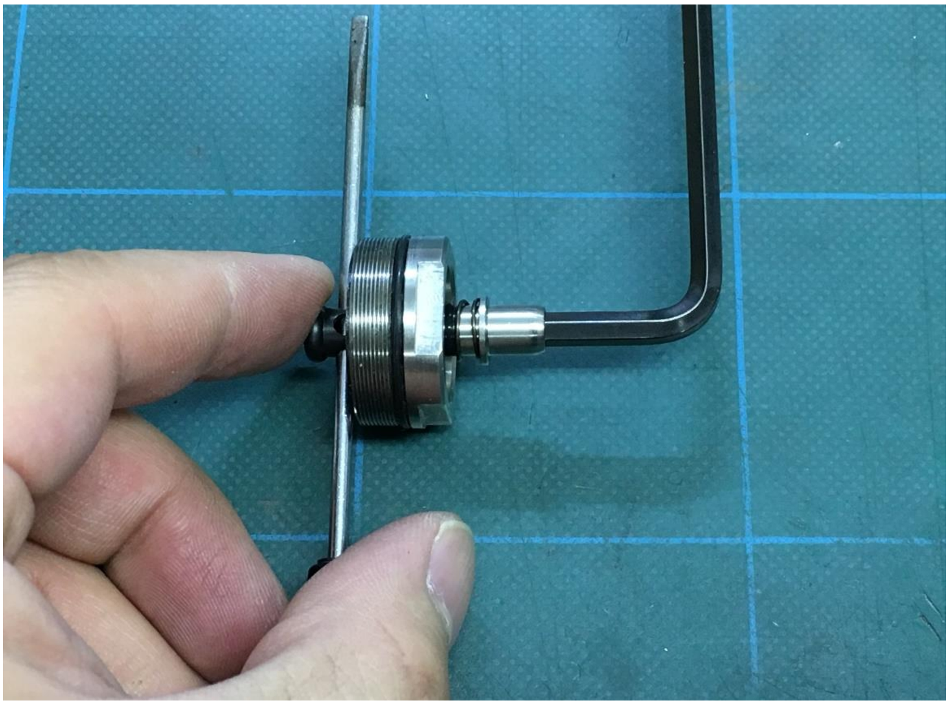


fig.25

少量のネジロックを塗布し、シリンダーヘッドを組み上げれば
専用ロングノズルの取り付けは完了です。
必ず改正銃刀法の定める銃口初速の範囲内で組み上げてください。

fig.26
一部のアウターバレルとの組み合わせで
ホップダイヤルが干渉、回しづらくなる現象が発生します。
その際は付属のチャンバー位置調整シムをコレットナット部分に入れる事で
ホップダイヤルとアウターバレルのクリアランスを調整できます。
付属分で足りない場合は、VCW製チャンバー位置調整シムなどをお買い求めください。

fig.27

チャージングハンドルの種類によっては、先端がダイヤルと干渉する可能性があります。
その際は、写真の様に干渉部分を削ってダイヤルの逃がしを作ってください。

fig.28
アウターバレル、マガジンの組み合わせによっては給弾口が若干ずれて
弾が上がりにくくなるケースがございます。

その際は①のコレット部分に付属のチャンバー位置調整シムを入れて
給弾口の位置調整を行い、その後、シリンダーがスムーズかつしっかり収まるよう
②のバッファーチューブキャップシムの厚みを調整します。

チャンバーやシリンダーを削っての調整は各部の位置関係が変わってしまい
部品の破損やさらなる給弾不良などトラブルの元となりますので
絶対に行わないでください。

fig.29
調整でコレット部分にシムを入れる際は付属のチャンバー位置調整シムの様に
コレット側面を通り、パーツNo.2　バレルホルダーの肩にかかるシムを使ってください。
この部分で力を受けるようになっています。

コレット前面にシムを入れて調整すると、打撃力により
ねじが破損するので絶対に行わないでください。

付属のシムで足りない場合は、
VCW製チャンバー位置調整シムなどをお買い求めください。

M−Chamber トラブルシューティング

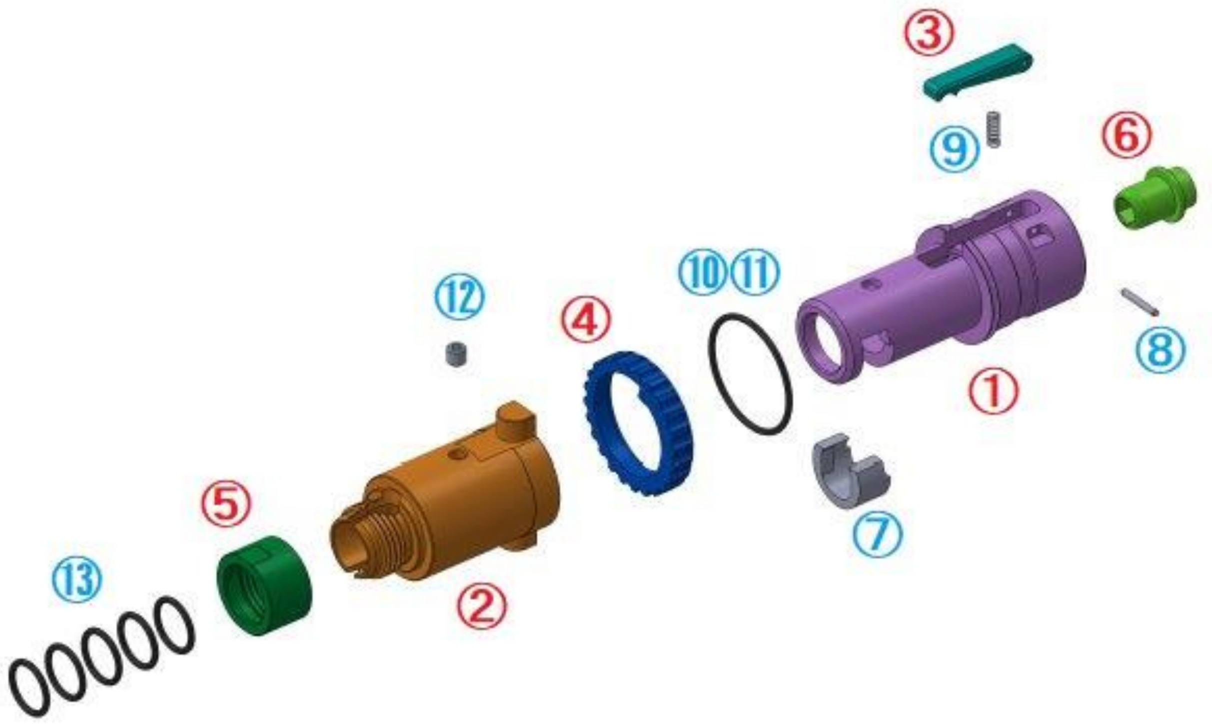
組み立て編

パッキンが入らない	M−Chamberは東京マルイのパッキン、バレル形状にて設計されています。 パッキンとバレルの組み合わせによっては太すぎて入らない場合がありま す。 無理に入れると破損してしまいますので注意してください。
ホップダイヤルが入らない	2種類のホップダイヤルテンションOリングのうち、大きい方は 結構きつめになっています。オイルやグリスを塗り込んで ゆっくりはめ込んでください。
ホップダイヤルが硬くて回らない	アウターバレルの形状によっては、チャンバーが中に入り込みすぎて ダイヤル部分を圧迫、硬くて動かなくなってしまいます。 付属のシムにてチャンバーとアウターバレルのクリアランス調整を 行ってください。
ノズルがねじ込めない	ノズルBのねじによっては、ねじが浅くて入らない場合があります。 M5.5xP0.5のダイスを使ってねじサイズを修正してください。 加工に自信が無い場合は取り扱いショップ様までご相談ください。
スプリングや割ピンを紛失または壊した	ご相談ください。
ねじが舐めった コレットナットをねじ切った	本体材質はA7075です。オーバートルクには十分注意してください。 (特にコレットナットを締めるとき)

実射編

初速が出ない	M−Chamberは東京マルイのパッキン、バレル形状にて設計されています。 パッキンの気密リブ形状によっては、気密が取れない可能性があります。 一度東京マルイのバレルとパッキンをお試しください。
多重給弾する　その1	シリンダーヘッドOリングの摩耗やメインスプリングのテンション不足などで 完全閉鎖→最後退位置で保持→ノズルリリースの流れに 不具合が起こっている可能性があります。これらをチェックしてください。
多重給弾する　その2	ホップパッキンの気密リブが短い、気密リブ内径が広い場合 これが原因で多重給弾を起こします。 説明書5ページ目を参考に、パッキンの状態を確認してください。
給弾しない　その1	ノズルのストロークとシリンダーヘッドOリングの保持が 正常か確認してください。 また、マガジンのBB弾ストッパーとチャンバー下部の爪が しっかり噛み合って弾が上がってくるか確認してください。
給弾しない　その2	弾上がりの悪いBB弾を目一杯マガジンに詰めた場合、 内部での摩擦が強すぎて上がってこなくなります。 一度滑りの良い弾を使ってみてください。
マガジン残弾で初速が変化する (残弾が少なくなるほど上がっていく)	チャンバーパッキンとノズルの接触不良による気密漏れが原因です。 ノズルを上に押し上げる力が少なくなるにつれ、ノズルがセンターに戻り 気密と初速が上がっていきます。パッキンとバレルの寸法を確認してくださ い。

M-Chamber パーツリスト



①	メインルート: ￥6300(税別)
②	バレルホルダー: ￥4800(税別)
③	ホップレバー: ￥1900(税別)
④	ホップダイヤル: ￥2600(税別)
⑤	コレットナット: ￥1600(税別)
⑥	専用ロングノズル: ￥2400(税別)
⑦	バレルクリップ
⑧	割ピン(Φ1xL8)
⑨	レバーテンション用スプリング(Φ2xL5.5)
⑩	ホップダイヤルテンションOリング小
⑪	ホップダイヤルテンションOリング大
⑫	イモネジ(M3xL3)
⑬	Φ8.55(Φ8.5)→Φ10変換Oリング
⑭	チャンバー位置調整シム(第2ロットより追加): ￥100(税別)/枚

赤丸のパーツが単品販売対象品です。
青丸は既製品となりますので、破損紛失の場合はそちらをご案内します。

在庫は常に変動します。ご注文、お問い合わせは
gaw_airsoft@gungineer.sakura.ne.jp
までメールにてお願いいたします。

このパーツを組み立て、使用する際に起こった事故に関しまして、当社は一切の責任を負わない物とします。